

# 令和5年度 市長記者会見 発言要旨

令和5年8月25日(月)開催分 **第1部**

- < 開催時間 > 14:00~
- < 会場 > 庁議室(市役所本館3階)
- < 会見案件 > 9月補正予算案の概要  
その他 北陸新幹線福井開業150日前カウントダウンイベント
- < 会見資料 > 9月補正予算案の概要  
北陸新幹線福井開業150日前カウントダウンイベント
- < 出席者 > 市長、副市長、財政部長、総務部長、財政課長、都市整備課課長補佐長、まち未来創造課長、女性活躍促進課長、地域包括ケア推進課副課長、子ども福祉課長、子ども家庭センター準備室長、健康管理センター所長、子育て支援課長、商工振興課課長補佐、経営管理課長、

## < 発表内容 >

### 【福井市長】

先日は、4年ぶりにコロナ禍以前とほぼ同様の規模で「福井フェニックスまつり」が盛大に開催され、多くの市民で活況を呈したことをたいへんうれしく思います。また、昨日の「北陸新幹線200日前シンポジウム」も盛況で、開業に向け市民の関心が高まってきていることを実感します。この賑わいを継続しながら、新幹線開業に向け、さらにパワーアップして福井を盛りあげていきたいと思っております。

本日は、9月定例会に提出を予定しております補正予算案の概要についてご説明させていただきます。

今回の補正予算案は、原油価格・物価高騰対策をはじめ、新幹線福井開業に向けた取組や結婚・出産・子育てに対する支援などの各種施策を推進するために予算措置が必要となった事業について計上するものです。

補正予算案の規模は、「9月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、

一般会計で、6億9,264万9千円

競輪特別会計で、4,931万8千円

水道事業会計で、402万4千円

集落排水事業会計で、550万円

追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、

一般会計で、1,329億8,132万7千円

特別会計で、766億6,258万3千円

企業会計で、317億9,652万4千円

全会計では、2,414億4,043万4千円

となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、  
財政部長から説明いたします。

#### 【財政部長】

それでは、お手元の資料「9月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。まず、1ページにつきましては、  
ただいま市長が申しあげました、会計別の総括表でございます。

2ページをお開きください。これは、一般会計の財源について表したものでございます。

分担金及び負担金で、1,455万円

国庫支出金で、1億9,898万4千円

県支出金で、1億2,215万4千円

繰入金で、1億2,732万5千円

繰越金で、5,453万6千円

市債で、1億7,510万円

をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。これは、一般会計の歳出を款別に表しております。

総務費で、8,064万4千円

民生費で、8,348万4千円

衛生費で、252万円

農林水産業費で、3,041万4千円

商工費で、2,050万円

土木費で、6,672万1千円

災害復旧費で、4億 836万6千円

をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。今回計上しました事業の一覧でございます。

6ページをお開きください。第一に、「原油価格・物価高騰への対応に関する事業」としまして、1番 ハピリン維持  
管理負担金 441万7千円でございます。電気料金高騰によるハピリン維持管理負担金の増に伴い、事業費を増額  
します。

2番 公衆街路灯・防犯灯電気料金補助事業 120万円でございます。公衆街路灯・防犯灯を管理する自治会等の  
電気料金高騰による負担を軽減するため、事業費を増額します。

3番 漁業機器等導入支援事業 478万円、および4番 水産業物価高騰対策支援事業 48万4千円につきましては、  
物価高騰の影響による漁業者の負担を軽減するため、漁業機器等の導入と漁業用資材の高騰分に対して支援しま  
す。

7ページをご覧ください。第二に「新幹線開業に向けた事業」です。

5番 県都まちなか再生事業 6,230万4千円でございます。まちなかの魅力向上に寄与する建物の建替や店舗等  
の改修事業に対し県と連携して支援します。

新規 6番 ポストコロナまちなか集客力向上事業 2,050万円でございます。新型コロナウイルス感染症による行動

制限が緩和されて以降も集客力の回復が遅れているJR福井駅周辺において、まちなか全体に活気を波及させる取組を行い、集客力の向上を図ります。

8ページをお開きください。第三に「結婚・出産・子育て支援に関する事業」です。

新規 7番 結婚生活スタートアップ応援事業 6,981万1千円でございます。新婚世帯の新生活に伴う経済的負担を軽減し、若い世代の結婚に対する機運醸成を図るため、支援金を支給します。

拡充 8番 母子家庭自立支援事業 330万円でございます。物価高騰の影響を大きく受けているひとり親の就労を促進するため、資格等の取得に対する支援制度を拡充します

新規 9番 こども家庭センター設置事業、2,521万円でございます。全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的な相談支援を行うため、令和6年4月に「こども家庭センター」を開設します。

9ページをご覧ください。新規 10番 園でラクラクポイント!おむつ廃棄事業 1,583万8千円でございます。保育園および認定こども園において、園児が使用したおむつを園で処分するための支援及び環境整備を行い、保護者の負担軽減を図ります。

拡充 11番 ふくっこ応援事業 252万円でございます。県が実施するデジタル地域通貨発行に伴い、現在、妊娠時と出産後に5万円を現金給付している「ふくっこ応援事業」について、デジタル地域通貨による給付を行います。また、デジタル地域通貨の利用促進のため、デジタル地域通貨を選択した場合、ポイントを上乘せします。

新規 12番 子育て世帯対象デジタル地域通貨発行事業 1,171万2千円でございます。県が実施する子育て世帯対象のデジタル地域通貨発行に関し、県と市で事務委託契約を締結し、必要な業務を行います。

10ページをお開きください。第四に「各種施策を推進するための取組」です。

新規 13番 自治会による住民交流イベント等開催支援モデル事業 801万3千円でございます。コロナ禍により減少した自治会のコミュニティ活動を活性化させるため、自治会が実施する新たな住民交流イベントの開催を支援するモデル事業を実施します。

14番 障がい福祉分野におけるICT導入支援事業 96万8千円でございます。障がい福祉サービス事業者等のICT導入を支援します。

拡充 15番 福祉避難所設置運営体制整備促進事業 2,645万6千円でございます。福祉避難所において、災害時に必要な避難物資を備蓄します。

11ページをご覧ください。16番 森林経営管理事業 2,000万円でございます。住民に身近な山林の整備に対して支援します。

拡充 17番 自主防災組織支援事業、162万円でございます。7月の全国的な大雨を踏まえ、自主防災組織の「共助」による防災力を強化するため、事業費を増額します。

18番 公営競技納付金 4,931万8千円でございます。地方財政法に基づき、公営競技納付金を納付します。

12ページをお開きください。19番 福井市水道100周年記念事業 402万4千円でございます。本市の水道事業が令和6年9月に100周年を迎えることから、6年度に記念事業を実施します。

20番 集落排水整備事業 550万円でございます。集落排水処理施設の機能を維持するため、老朽化により不具合が生じている機械設備を更新します。

13ページをご覧ください。

第五に「災害復旧に関する事業」です。21番 旧東山センター跡地災害復旧事業 2,589万1千円、22番 観光地災害復旧事業 5,700万円、23番 林業作業道復旧事業 515万円、24番 林業施設災害復旧事業 7,590万

円、14ページをお開きください。25番 山地災害復旧事業 1,850万円、26番 農地・農業施設災害復旧事業 1億637万5千円 27番 道路災害復旧事業 9,450万円および28番 河川災害復旧事業 3,020万円につきましては、7月13日の大雨により被災した道路、河川等を復旧するものです。

以上、令和5年度9月補正予算案の概要につきまして説明させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

【福井市長】

続きまして、その他として、「北陸新幹線福井開業 150 日前カウントダウンイベント」についてお知らせします。福井駅東口に完成した福井観光交流センターが 10 月 1 日にオープンするにあたり、開業 150 日前イベントとしてオープニングイベントを開催します。当日は、音楽ライブやゆるキャラ大集合など、様々な企画を予定しており、福井開業機運を盛り上げてまいります。

また、同日午後にはW7系新幹線が福井駅に入線するため、入線式典も併せて開催します。さらに、新幹線開業に向け、アーケードフラッグによる装飾を 10 月 1 日から駅前商店街を中心に実施いたします。開業と同時期に開催される「ふくい桜マラソン」と連携し、新幹線と桜マラソンの 2 種類のフラッグを 128 か所に交互に設置いたします。いずれのイベントも、詳細がまとも次第、改めて発表させていただきます。

私からは、以上です。

< 質疑応答 >

【広報課長】

それではただ今説明がありました案件につきまして質疑応答を行います。

【福井新聞】

開業 150 日前カウントダウンイベントに関連して、観光交流センターがオープンしますが、観光交流センターへの期待や役割をお聞かせください。

【市長】

今、福井市の観光案内所が福井駅西口にありますが、新幹線から降り立った方々から、福井市だけではなく、県全体の観光についての質問が増えるのではないかと考えています。観光交流センターは、新幹線のホームが非常に狭いため、少しゆとりを持った体制を取るために駅舎の隣に作ることにしました。嶺南を含めた県内全体についての観光案内等をしてもらおうという考えのもとに、観光交流センターをオープンしようと思っています。

【福井新聞】。

北陸新幹線福井開業まで間もなくですが、市長の任期が残り 4 ヶ月ということで、改めて新幹線開業に向けたまちづくりなどを振り返ってみてどうですか。

【福井市長】

まだ新幹線開業の間際ではないので、色々と課題もあると思いますし、開業の準備の中で、もう少しこれもあれもできればという話も出てくると思います。ただ、今日まで取り組んできたことや、新しく取り組むことを、しっかりと連携を取りながら行っていきたいです。昨日行われた 200 日前シンポジウムに私も参加しましたが、従来は市民があまり興味を示されなかつ

たようなことも、新幹線開業の時期が迫ってくるにつれ、興味を示し、知ろうとして、参加してくれることが、非常にこれから良い動きになるのではないかと考えています。

【中日新聞】

結婚生活スタートアップ応援事業の補正予算に関して、福井市で結婚支援の事業をたくさんしていると思うのですが、結婚支援について、市としての役割や自治体だからこそできることは何だと思えますか。

【市長】

近年、結婚する人が減少している要因を探ると、経済的な状況が厳しいのではないかとということで、経済的な面で支援できないか考えながら制度を作っています。ですが、経済的な状況だけが問題ではないと思うので、支援事業を進めながら、様々な意見を伺い、事業を磨き上げていきたいと考えています。

【中日新聞】

新しくできる観光交流センターの屋上にある、越前がにをくわえている恐竜のモニュメントについて、カニの関係者から恐竜に食べられていて悲しいという声があるようですが、このことについてどう思われますか。

【福井市長】

そのような気持ちもあると思いますが、「恐竜に食べられるほどのおいしさ」ということで、福井をアピールするために作ったモニュメントなので、そのモニュメントが福井を盛り上げてくれると嬉しいです。

【福井テレビ】

県都まちなか再生事業について、この事業はたびたび補正予算に計上されていると思うのですが、今回は事業の中身が決まったので、それに合わせて補正をしたということでしょうか。

【福井市長】

現状の予算では不足してきているので、事業展開をしっかりと行っていくにあたり予算を計上しました。

【福井テレビ】

9月補正の予算をどのエリアに充てるのか、候補は決まっているということですか。

【福井市長】

候補があるので、しっかりと対応を取っていかうということで計上しました。

【福井テレビ】

ポストコロナまちなか集客力向上事業について、説明ではコロナの行動制限が緩和されて以降も、集客力の回復が遅れているとのことですが、新幹線開業に向けて、まちなかのにぎわいは個人的には結構戻ってきていると思うのですが、市長はどのように見えていますか。

【市長】

にぎわいが戻ってきているという感覚に早くなってくれば良いなと思っています。ただ現状としては、まだ工事中ということもあり、以前の状況にまでは戻っていないのではないかと考えています。前と同じくらいのにぎわいに戻るかという難しい部分もあると思います。ただできるだけにぎわいが戻り、より多くの方に中心部で買い物を楽しんでもらえるようになることが非常に重要ではないかと考えています。そこで買い物ができたことへの喜びをさらに大きくしてもらいたいなと思っています。

【NHK】

今のポストコロナまちなか集客力向上事業の関連で、冬の時期の開催ということで、雪が降ることも予想され、外出が億劫な時期に行うのは、新幹線が3月に来ることを踏まえているからなのか、どういうねらいがあるのでしょうか。

【市長】

福井のまちなかでコロナ前はお客さんが多く集まっていましたが、新幹線開業に向けて工事をしていることもあり、なかなか従来のところまでにぎわいが戻っていない状況下にあります。少しでも、お客さんがまちなかで買い物を楽しめるような形にしていかなければならないという課題を見出しており、それを解決するためにまちなかで買い物ができるように、売り手は売れる努力を、買い手はそこで買おうという思いを強めてもらうことが必要だと考え、この時期としています。

【NHK】

新幹線の開業に合わせてさらに盛り上げていくということでしょうか。

【福井市長】

そういうことです。

【広報課長】

他にございませんか。ご質問がないようですので、これで市長記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。

<第 2 部>

【広報課長】

それではただいまから第 2 部に映らせていただきます。ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【福井テレビ】

先日行われたフェニックス花火が 4 年ぶりの本格開催でお客さんも多く入っており、とても盛り上がったと思います。今全国的に有料席の値上げや花火の材料費の高騰などの動きがある中で、このフェニックス花火に関しては、協賛席はあるものの有料席はないということも魅力の一つだと思いました。一方で花火の規模が少し小さい印象を受けましたが、市長はどのように感じましたか。また来年以降資金を集める手段を増やして、さらに、豪華にボリュームを増やすといったお考えはありますか。

【福井市長】

今お話ありましたように、全国的に花火大会を開催しているところの状況をお聞きすると、コロナが落ち着いて、人も集まりやすくなっているので、ぜひ今年には花火大会を開催したいという事業主体の方の気持ちがある一方で、開催資金がなかなか集まらない、警備の人が集まらないということがあり、結果的には開催自体を辞めようということが意外と多い状況です。そのような中で、フェニックス花火が本当に開催できるかどうかということを実行委員会の中でも大分検討していただきました。当初は少し資金集めの出足が悪く、花火の数がどうしても少ないということもあったのですが、再度協賛集めに回っていただいて、何とか形になったということで、今回開催しました。

現に見せてもらうと、例年よりも、非常に大きく映る花火が多かったのも、その分少し迫力もあったなと思いましたが、ただ花火の数そのものは、もう少しあってもいいかなと思います。

【福井テレビ】

その辺りは来年以降考えていくのでしょうか。

【福井市長】

来年以降の考えというよりは、その時の状況によると思います。

花火に対する思いの状況がどのように変わっていくかというのを踏まえて対応を考えざるをえないと思います。

【広報課長】

それでは他にご質問ないようですのでこれで第 2 部を終了させていただきます。